

## ■ 概要

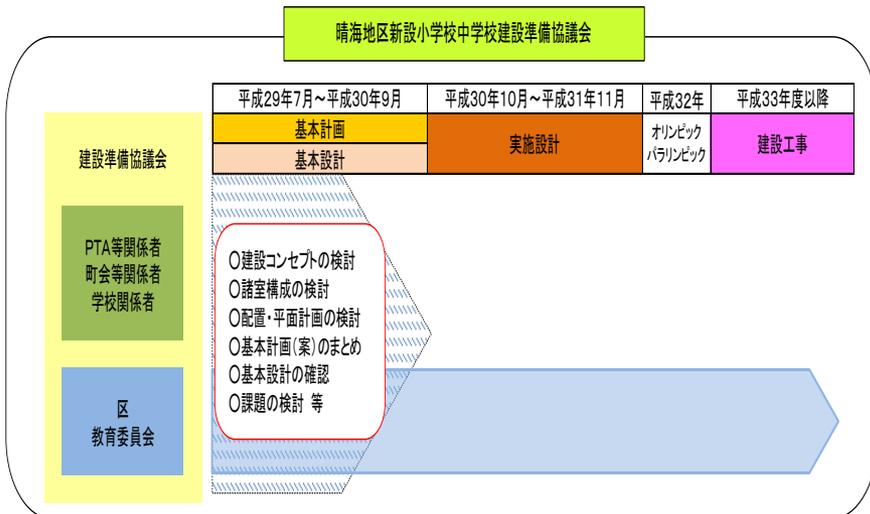
東京2020オリンピック・パラリンピック大会の選手村となる晴海五丁目は、大会終了後、「晴海五丁目西地区開発計画」として分譲と賃貸を併せて5,632戸の住戸数が整備され、12,000人の人口増が見込まれています。これに対応するため区では、晴海五丁目に小学校と中学校を新設します。

### 新設する学校規模の想定

敷地面積 1.6ヘクタール  
 規模 小学校 普通教室30学級  
 中学校 普通教室15学級  
 地下1階地上5階建て 延べ面積24,000㎡

## ■ 建設準備協議会について

新たな学校施設をつくるため、学校やPTA、地域関係者とアイデアを出し合い、意見交換をしながら建設計画を円滑に進めるために建設準備協議会を設置します。



## (建設準備協議会でまとめる内容)

- 1 建設コンセプト 平成29年9月 第2回協議会で検討
- 2 諸室構成、配置・平面計画 11月 第3回協議会で検討
- 3 基本計画(案) 平成30年2月 第4回協議会でまとめる  
(建設コンセプト・配置・平面計画)
- 4 基本設計 4月 第5回協議会で確認

### ○建設コンセプトとは、

基本設計に反映させる建設の基本的な方向を示す方針です。こんな学校にしたい、こんな機能を盛り込みたいという協議会での意見をもとに、いくつかの柱を立ててまとめていきます。

### ○基本計画とは、

建設コンセプトに基づき、建ぺい率や高さ制限等の建築条件等を踏まえて、ブロックプラン(配置・平面図)等の基本的な構想をまとめた計画です。基本設計の前提となります。

### ○基本設計とは、

基本計画の内容に基づく、平面、立面、断面図等からなる実施設計を行うための第一段階の設計です。

### ○実施設計とは、

実際の工事を施工できる意匠図や構造図、設計図等をつくる詳細設計です。これを基に工事費用の見積もりを行います。

## ■ 建設スケジュール案

	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)	平成33年度 (2021)	平成34年度 (2022)	平成35年度 (2023)
晴海地区小学校・ 中学校新設整備				オリンピック・ パラリンピック大会			
		建設準備協議会					
		基本設計	実施設計				
		都市計画変更・決定					
					工事 準備	建築工事	開設

## ○ コンセプトのための参考資料

### ○ 阪本小学校の改築コンセプト

1 番校としての伝統と誇りを未来につなぐ風格ある学び舎

～地域との繋がりのなかで伝統文化・環境を学び、子どもたちの“心と体”をのびのびと育み、最先端の学習を目指す一番校～

阪本小学校は、「第一大学区第一中学区第一番官立小学校阪本学校」として、「一、一、一」を冠した唯一の学校であり、都市公園の先駆けである坂本町公園にも接する、希有な伝統と特徴的な公共空間を有している。そして、本校のある兜町・茅場町は、銀行・証券取引の発祥の地であり、日本経済の最前線で時代を切り拓いてきた地域である。

教育においては、ピオトープや公園を利用した「環境教育」、日本の伝統や文化に触れる「伝統文化理解教育」、日本随一の金融街という特徴を活かした「金融教育」などを地域とともに実践している。これまでの140年という長い年月のなかで培ってきた「一番校と街の伝統と誇りを未来へとつなぐ」、ここにしかない学校づくりを推進する。



北西側外観イメージ



エントランスイメージ



西側外観イメージ

### ○ 豊海小学校の改築コンセプト

自然環境と融合・調和する学びの広場

～ 空・海・緑 輝く自然の中で、

まちを結ぶ子どもたちの学びの舎 ～



航空写真

豊海小学校の地域は、大都市東京のウォーターフロントとして、近年、目覚ましい発展を遂げています。いわば、未来都市を先取りしたまちです。その中心に位置する学校・幼稚園では、21世紀の地域や日本を担う子どもたちへの力強い教育活動が展開されています。輝く空、広がる海、伸びゆく緑に囲まれた豊かな自然環境の中で「走り、跳び、泳ぎ、学び、歌う」ことですくすくと育つ子どもたちが集うとともに、保護者や地域の人々のふれあいと交流が生れて、多様な世代の方に親しまれ愛される、学校づくりを推進します。



南西側外観



校庭側外観